

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月30日

計画の名称	頻発する自然災害に対する武庫川の安全・安心の確保（防災・安全）抜本的治水対策												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	兵庫県												
計画の目標	人口・資産が高度に集積する武庫川において、多大な費用と長期間を要する下流部の人家密集地域での河道拡幅に代わり、洪水調節施設（遊水地）を整備することにより、住民の安全・安心な生活環境を早急に確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,200	A	1,200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	武庫川下流部において、戦後最大（S36.6）の洪水（河川整備計画目標流量）に対する浸水被害の軽減を図る。（浸水面積1,015haのうち26haを解消） 洪水による浸水被害の軽減面積	0ha	ha	26ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	兵庫県	直接	兵庫県	広域河川(2)	-	武庫川水系武庫川 広域河川改修事業(A1-1)	遊水地	神戸市						1,200	13.9	-
											小計						1,200		
											合計						1,200		

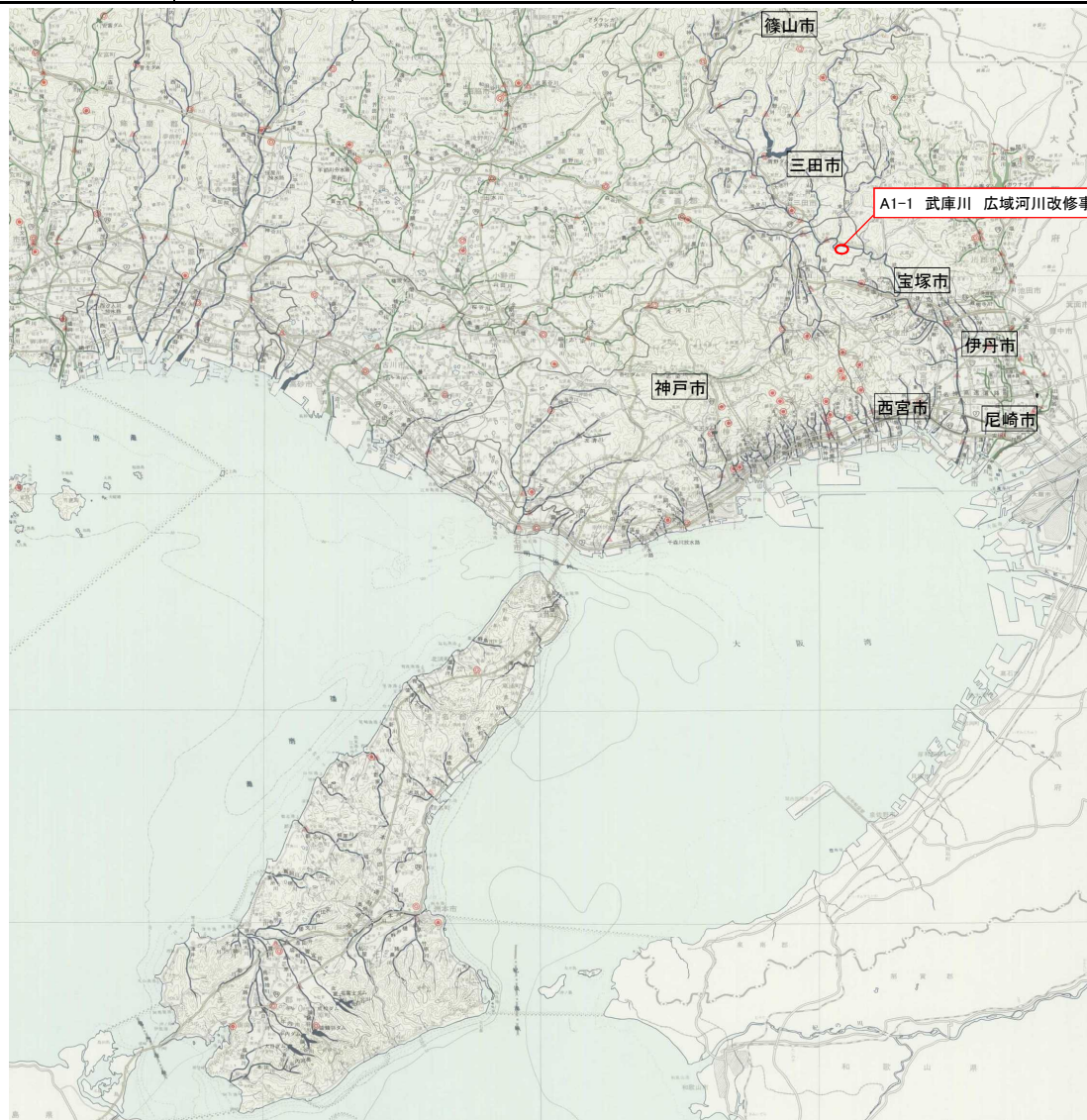
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	0	250	3		
計画別流用増 減額 (b)	0	35	65		
交付額 (c=a+b)	0	285	68		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	164		
支払済額 (e)	0	121	226		
翌年度繰越額 (f)	0	164	6		
うち未契約繰越額(g)	0	0	6		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	2.58		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（防災・安全交付金）抜本的治水対策（武庫川）

計画の名称	頻発する自然災害に対する武庫川の安全・安心の確保（防災・安全）抜本的治水対策		
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）	交付対象	兵庫県



凡例
— : 防災・安全交付金事業

事前評価チェックシート

計画の名称： 頻発する自然災害に対する武庫川の安全・安心の確保（防災・安全）抜本的治水対策

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。 社会資本整備重点計画	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 地域の課題に対応した目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 事業間の連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 県予算計画との整合が図られ、無理なく計画されている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。（予算執行環境）	○